



こほく台

地区社協だより

第 61 号

発行日 平成 27 年 7 月 17 日

編集・発行

湖北台地区社会福祉協議会

広報部会

〒 270-1132 湖北台 3-1-1

電話 (04) 7188-1410

第 14 回 湖北台福祉バザー開催 ご協力ありがとうございました

地域の皆様から膨大な量の“お宝”のご提供をいただき、6月13日(土)湖北台近隣センターに於いて、第14回湖北台福祉バザーが開催されました。当日は好天にも恵まれ、暑い中開場前から大勢のお客様が並んで下さるなど、大変な賑わいで、400人を超すお客様のご来場をいただきました。

今年は、会場にブルーシートを敷き詰めて、土足のまま出入りできるようにするなど、工夫を凝らし利便性の向上にも取り組みました。

提供品の受付・集荷・値付け、当日の販売など、多くの分野に於いて、各自治会、見守り組織、そして大勢のボランティアスタッフまで、各方面の全面的なご支援、ご協力を頂き改めて深く御礼を申し上げます、ありがとうございました。

例年通り、収益金はこれから実施予定の「敬老お楽しみ会」「湖北台健康まつり」などの行事や、他の福祉関係の事業に使わせていただく予定です。

湖北台地区社協は福祉推進のため、皆様と共に行事や事業に取り組んでまいります。今後とも皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



盛況でした！！「鯉のぼりまつり」「湖北台を歩こう」

5月5日湖北台中央公園において、第8回湖北台「鯉のぼりまつり」が開催されました。当社協も協賛として昨年同様、手づくりの鯉のぼり・兜・剣・かざぐるま、など ほととサロン担当委員が中心となって、連日手作り

で準備をした大量のグッズに大勢の子どもたちが集まってくれました。

昨年に続いて「綿あめ」の提供も好評で準備した最後の1本まで行列が絶えない状況でした。

また同日、「湖北台を歩こう」が開催され、子供から80歳代後半まで120名余りが参加、3km・6kmのコースに分かれて、新緑の湖北台を満喫（新発見も？）事故もなく全員がみごと完歩し、記念のバッジが手渡されました。

この行事は、湖北台自治会連合会・まち協・地区社協 3団体共催の行事で、昨年に続いて第2回目の開催となりました。これからも3団体力を合わせて、より良い湖北台づくりに取り組んでまいります。



高齢化社会＝地域の支えあいで住み良いまちに！！

第1回 年々高くなる高齢化率

65歳以上人口

総人口

今年1月1日現在の市内「町丁別」高齢化率は下記の通りでした。(115町丁)

1位布佐平和台2丁目 49,8% 16位湖北台6丁目 41,3% 20位湖北台5丁目 39,3% 21位湖北台7丁目 39,1% 25位湖北台2丁目 36,2% 36位湖北台8丁目 33,8% 49位湖北台3丁目 31,0% 57位湖北台1丁目 29,5% 60位湖北台10丁目 29,1% 62位湖北台9丁目 29,0% 73位湖北台4丁目 26,2% 115位 南青山 8,7%。 順位上位の町丁は40年～50年前に住宅地として開発された所が多く、下位は駅近くのマンション等の多い地域の町丁となっております。

高齢化が進むことにより、高齢者社会特有

のさけてとれない問題や現象（認知症の増加、交通事故・振り込め詐欺等の被害）が多発してきております。高齢者のために、行政をはじめ警察・消防・ボランティア団体等がさまざまな施策や活動をされておりますが、万全とはいいがたい現況です。そこで、その予防や被害防止のために、具体的に何をしていけばよいかを地域で、みんなで、知恵と力を出しあって「地域の支えあいで住み良いまちに！」をめざして努めていこうではありませんか。

今回は「認知症」について。認知症とは？その予防は？治療は？認知症の方への対応は？等々についてお知らせします。

27年度行事予定案内

◎定例行事

- 電話訪問 ・毎週月曜日～金曜日 9時30分～
- ほっとサロン ・毎月第4金曜日 10時～11時30分まで
・湖北台近隣センター幼児コーナー
- 委員会 ・毎月第1金曜日 19時～ ・湖北台市民センター
- 役員会 ・毎月第3金曜日 19時～ ・湖北台市民センター
- お休み処 ・毎日10時～16時（除く年末・年始及び盆休み）

◎4月

- 定期総会 ・25日（土）実施済 ・湖北台近隣センター大会議室

◎5月

- 第8回「湖北台鯉のぼりまつり」への参加
・5日（祝）湖北台中央公園実施済 詳細 2ページを参照下さい。

◎6月

- 第14回湖北台福祉バザー
・13日（土）湖北台近隣センター全館実施済 詳細 1ページを参照

下さい

◎8月

- お休み処お盆休み 8月13日（木）～8月16日（日）

◎9月

- 第13回敬老お楽しみ会**
・29日（火）湖北台西小学校体育館 詳細決定後ご案内いたします

◎10月

- 第17回健康まつり**
・24日（土）湖北台近隣センター

◎11月

- 台中生向け認知症勉強会
・4日（水）湖北台中学校

ご寄付ありがとうございました

- ・インクカートリッジ・古切手・はがき・現金
塩野谷勉様・市川富美子様・島田悦子様・8丁目見守りの会様・清水正俊様・八木邦夫様
- ・大塚征治様・細野陽一様・鈴木幸子様・松野様・ウイング様・板倉憲一様・ホリデーワン様
- ・山岸広志様（10000円）・桑嶋様・石田陸男様

お休み処 スタッフ募集

- ・9：45～13：00
- ・13：00～16：15

毎日、毎月でなくても大丈夫です。お問い合わせご連絡をお待ちしております。
電話（7188-1410）

浮田 益夫さんのこころ遊びすき (中峠台在住)

浮田さんは四国の徳島から我孫子へ越されて来られて、それほど歳月はたっていない。越されて間もなく湖北台地区社会福祉協議会の「電話訪問サービス」のボランティアを始められた。「私は人が好きです」。そんな思いの根底には長い間、教会の牧師を努められ、つらくて苦しむ方や、弱い立場の人々に親身になって話を聴く寄りそいがあつたからです。保護司や青少年補導委員、徳島いのちの電話の協力者及び研修委員、徳島県自殺予防協会の支部長やターミナルケア(ホスピス)でのつらい方々との関わりの中を歩んで来られた。ご出身は岡山県。教師をめざし師範学校へ、学制改革によって大学の教育学部へ。

戦後の荒廃した時代に多感な青春時代を過ごされた。友人に勧められ、学内のYMCAや教会のキャンプに参加し、聖書の勉強もされた。神戸には有名な賀川豊彦さんがおられ、貧しい人々のための救済活動をされていた。浮田さんはそんな環境の中で大学を中退し、神戸にある関西聖書神学校へ入学し、四年間学ばれた。両親には「生活が心配だ」と、牧師になることを反対された。恋愛の中にあるわがままに気が付いて求めている真実の愛は、神を信じてキリストの十字架によって罪が赦されるといふ神の愛を知ることにあると、ご自身のアイデンティティを得られ、それを伝えることが自分の使命であると、牧師の道へと進まれた。「私の父は無口でしたが、母は優しく気前の

良い人でした。「他人を通して自分を知り、自分をほり下げる事が出来る」と思つて生きてこられたとのこと。その謙虚さに頭が下がります。奥様は四〇余年間リュウマチを患われ、それに寄りそつて来られた。長女の方が、そんな私に「今度は私がお父さんの生活(くらし)を支えたい」と言つてくれて、我孫子に來られた。私の住んでいる前の道路で会う人には『おはようございます』と声をかけるようにしている。この通りに『あいさつ通り』とネーミングをつけたんですよ。八十四歳になられても湖北小学校の「絵本の読み聞かせ」ボランティアへ月2回行かれていく。いろいろやることがあります。浮田さんが求められた「真実の愛」、

お話の中で大切なことを深く感じさせていただいた。忙しさという日常にふりまわされ、心の隅に押し込められていた私には梅雨に咲く「白いクチナシの花」のような清々(すがすが)しさのひとときであった。きつと浮田さんと出会つた方々には柔らかなまなざしで話を聴いて下さる温かな一言ひとことが滴(しずく)となつて心に染みていくのだなあと思えた。

(福)

編集後記

社協だより61号を届けます。

梅雨が明けるとまた暑い季節にはいります。

水分を十分にとって元気に過ごしてください。

